

屋代高等学校附属中学校 オーストラリア研修2日目 報告書

ホストファミリーの車で集合場所であるセンターに集まった生徒たちは、昨夜どのように過ごしたかを報告し合っていました。ファミリーが親切にしてくれて有難い、食事も意外と(!?)おいしかったなど、ひとまず初日は大きな問題なく過ごせたようです。ただ、話すスピードについていけない、知らないフレーズが多い、など英語の面での課題の他、まだ洗濯について聞けていない、お土産を渡せていないので明日必ず!と言う直近の目標もあります。

今日から Tamborine Mountain College(TMC)でのプログラムが始まりました。2グループに分かれ、①イングリッシュレッスン②現地校の授業参加を2コマずつ行います。現地校の授業参加の際は、生徒1人に対し現地校の生徒が1人ついてくれ、自分の授業の教室に連れて行ってくれます。日本と違い、授業ごとに先生の教室に移動しなくてはならないため、今日はとにかくバディについていくことで精いっぱい。授業も数学、美術、体育、英語からビジネスまで幅広く、教室に入って実際に始まるまでわかりません。数学と思っていたらバスケットが始まったなんてことも。授業スタイルも、洋楽が流れている中で床に座って生徒同士がディスカッションをしたり、先生に指名される前に手も挙げずに発言をしたり、日本での授業風景とは全く違います。

文化の違いは休み時間にもありました。オーストラリアでは午前中にモーニングティーと言う時間が30分あり、スナックやフルーツなどを軽く食べるのですが、もうランチかと思いお弁当を食べてしまった生徒も。ホストファミリーからはバナナやリンゴ、クッキーなども持たされており、これはこの時間に食べるものだったのか!と気付きました。丸のまま持たされたリンゴを前に「このまま食べるの?」と聞いてくる生徒も。食べる場所も外のベンチや芝生の上です。新しいことだらけで戸惑いもありながらも、オーストラリアの学校生活を体験することが出来ました。

コーディネーターの Kahli 先生によるレッスンは、初回と言うことで自己紹介をしたのちに、オーストラリアの習慣について学びました。ここでは屋代の生徒だけなので、少しホッとできる環境ではありますが、誰でもいいから読んでくれる?言ってくれる?と言った投げかけに対して、率先して声を上げる生徒がなかなか出てこない状況です。現地校の生徒の活発な態度を見て、今後どのように変わってくるか期待をしたいと思います。

今日は初日と言うこともあり、予定にはない時間にバディが生徒を連れて行ったり、生徒がトイレに行っている間にバディを見失ったりとお互い混乱気味でしたが、一日を過ごして大体の流れをつかんだので明日以降はよりスムーズに進みそうです。今日は様子見と言った雰囲気もありましたが、明日は自ら踏み出す積極性が見られるのではないかと思います。



TMC 学校案内



イングリッシュレッスン



バディとその友達と一緒にランチ



現地校の授業に参加



これも授業中の1コマ